

令和6年度  
学校だより

第2号

# ふぞくの風

鹿児島大学教育学部附属小学校



令和6年5月30日 発行

## 「ありがとう」にこだわる一年に

校長 橋元 忠史

P T A 総会からことある毎に話していること。それは、本年度は学校も P T A ・家庭も「ありがとう」という言葉にこだわっていこうということ。昨年度は美しさ溢れる附属小を目指そうということだったが、「美しさ」があまりにも多様だということもあり、美しさが出た姿として「発する言葉」に着目しようということだ。そして、そのシンボルティックな言葉として「ありがとう」に絞って取り組んでみましょうということ。

P T A 総会資料の 15 ページに記されている家庭での取組は～「ありがとう」と伝える習慣化～とある。習慣化のためには、自分の周りの事象を「有り難し」という感謝の対象と捉えることができるかということが大切になろう。そのベースがあるからこそ、伝えるという行為が意味をなすのではなかろうか。

私自身、この言葉を意識して初めて気付いたのだが、この世の中にはびっくりするほど「有り難し」が溢れているということ。たとえば、雨が降り始めたとき、ああ、傘を持っていてよかった。ありがたい(ラッキー)とは思っても、その後、家に入ったとき、ふと上を見上げて屋根を見つめることはしてこなかった。しかし、屋根のある家に住んでいて安心してくつろげることは果たして「当たり前」で済ませべきことなのか。電灯のスイッチを入れると明るく灯される。それも凄いことだが、そもそも太陽が見上げるといつもそこにあるというのはどうか。朝日が昇って周りが明るくなる。懐中電灯何億個で照らしてもこんなに一気に世の中は明るくならない。でも、暗闇で懐中電灯がポケットにあって感謝しても、毎朝、ちゃんと日が昇ることに手を合わせて感謝することができるか。

そんなことを考えながら、今日もいつも通り正門に立つ。すると、木漏れ日が私の額に光を差す。つい、空を見上げる。太陽と目が合ったような気がして微笑んでみる。通りすがりの自転車通の高校生と笑顔で会釈を交わす。つい、頬が緩む。子どもたちが登校してくる。こちらが声をかけてもいつも通り返事のないあの子。でも、ちゃんと今日も同じ時間に登校して来てくれたんだ。それで凄いことなんじゃないかと思ってつい後ろ姿を追って見る。

今日も日常が始まった。「当たり前」に溢れるこの世の中。でも、その当たり前が全て「有り難し」と思えると、世界は一変する。他者へ投げかける言葉かけも変わってくる。トラブル発生時の心持ちも前向きなトライに変わってくる。子どもたちに求める前にまずは、この世の中を形作る我々大人こそ。他人に求める前に、まずは自分自身が率先して。

附属小を「美しい心と姿の追求～学びと育ちのステージ～」と設定してスタートした本年度。とにかくにも、「ありがとう」にこだわる1年にしたいものだ。

## ～「ありがとう」にあふれる附属小学校へ～

学校のグランドデザインでも示されている「美しい姿と心の追求～学びと育ちのステージ」。学校というステージにおいて、子どもや保護者、教職員それぞれの立場でエージェンシーを発揮することが周囲を笑顔にし、全体のウェルビーイングに繋がっていくと考えます。

今年度の「ふぞくの風」では、それぞれの立場でエージェンシーを発揮したことにより生み出された「ありがとう」にスポットを当て紹介していきます。

### ● ありがとう 6年生 ～エージェンシーの発揮 1年生のサポート～

毎年、年度当初の朝や給食の時間、1年生の教室には6年生の姿が見られます。始業前の準備や給食の配膳をサポートする6年生たちです。朝のサポートを終えた6年生、サポートをもらった1年生に話を聞きました。

1年生がとてもかわいいです。わたしが1年生の時にも6年生が手伝ってくれたので、わたしができることをしてあげたいです。(6年女児)

6年生のお兄さんやお姉さんが来てくれてうれしいです。いつも、ありがとうございます。(1年男児)



【1年生をサポートする6年生の姿】

自分たちのできることを行おうとエージェンシーを発揮する6年生、自分がしてもらったことに対して感謝の気持ちを伝える1年生。このような経験をすることが子どもたちの学びとなり、よりよい成長へつながるとともに、大事にしてきたものが後輩へと受け継がれていくのだと感じます。

### ● まさに縁の下のかもち ～ちからの会公開研究会前美化作業～

5月25日(土)、ちからの会公開研究会前美化作業が行われました。保護者、教職員、総勢200名での一斉作業。普段、手入れや作業ができない樹木の剪定や側溝の清掃、エアコン・換気扇のフィルター掃除など、子どもたちや学校を支えるサポーターとして、それぞれの担当箇所を時間いっぱい作業していただきました。



【アオギリの剪定・搬出する保護者の姿】

校長挨拶の中に「休もうと思えば休むことができる美化作業に参加していただいていることは当たり前ではなく、『ありがたいこと』です」とありました。支えていただける方々がいらっしゃることは、本当に心強いです。御協力いただきましたちからの会の皆様、ありがとうございました。

※ 公開研究会前日には、保健厚生部の方々による前日清掃、当日は、執行部・研修部・広報部・安全部の方々にも運営のお手伝いをいただきます。よろしくお願いいたします。

### 【6月の主な行事】

|        |                 |        |                |
|--------|-----------------|--------|----------------|
| 3日(月)  | マナーアップ強調週間(～7日) | 14日(金) | 人権教室           |
|        | 水泳学習開始          | 16日(日) | 日曜参観、引渡訓練      |
| 4日(火)  | 集団下校訓練          | 17日(月) | 日曜参観振替休日       |
| 10日(月) | 校内読書旬間(～21日)    | 18日(火) | 附属中学校体験入学(6年生) |
|        | 学校体験実習          | 26日(水) | 修学旅行(6年生)      |
| 13日(木) | 交通安全教室          |        |                |



鹿児島大学教育学部附属小学校インスタグラム始めました!

学校の行事や日々の授業、マイプロジェクトの様子などなど、配信中です。ぜひ、ご覧ください。<https://www.instagram.com/fuzokuinsta/>

